

## 高梁川流域 偉人・賢人かるた

### ◎あそびかた

- 1 用意するもの  
読み札と絵札を印刷し、絵札は1枚ずつ切り離れたもの。えんぴつ（読み札のチェック用）。
- 2 かるたとりの要領で、読み手が読み札を読み、札を取る人は正解の札がわかったところで絵札をとります。  
読み手は、読んだものがわかるようにチェック欄にチェックします。
- 3 読み札を最後まで聞くと人物の名前が出てくるので、絵札の名前を見て探せば必ずとれます。

ゲームをしながら、高梁川流域の偉人・賢人に親しんでくださいね。

	氏名	関係ある市町	チェック欄			説明文
1	赤沢 文治	浅口市				大きな病気で死に直面。そのとき新たな神と出会い、残りの人生を信仰に捧げた金光教の教祖、赤沢文治（あかざわぶんじ）。
2	太田 辰五郎	新見市				千屋牛をつくり、千屋市場（ちやしじょう）の繁栄に貢献した、「千屋牛育成の功労者」。太田辰五郎（おおたつごろう）。
3	丸川 松隠	新見市				新見藩の藩校や塾で山田方谷などたくさんの生徒を教えた教育者。藩の政治も改革した偉人。丸川松隠（まるかわしょういん）。
4	山田 方谷	新見市、高梁市				備中松山藩の重役に抜てきされ、財政と藩政の立て直しに貢献し、たくさんの優秀な人材を育てた偉人。山田方谷（やまだ ほうこく）。
5	山室 軍平	新見市				キリスト教の布教のため、さまざまな社会事業に取り組んだ偉人。中でも日本で最初の募金活動は有名。山室軍平（やまむろぐんぺい）
6	秋庭 重信	高梁市				承久（じょうきゅう）の乱で手柄を立てて地頭となり、備中松山城のある臥牛山に初めてお城を築いたよ。秋庭重信（あきばしげのぶ）。
7	板倉 勝静	高梁市				15代将軍徳川慶喜から信頼され、大政奉還実現に力を尽くした江戸幕府最後の老中。板倉勝静（いたくらかつきよ）。

8	児島 虎次郎	高梁市				大原孫三郎の依頼で西洋の絵画を集め、大原美術館コレクションの基礎を作った画家。児島虎次郎（こじまとらじろう）。
9	留岡 幸助	高梁市				少年の非行を防ぐ教育に力を注ぎ、日本の社会福祉事業の発展に尽くしたよ。留岡幸助（とめおかこうすけ）。
10	西林 國橋	高梁市				現在の備中神楽の礎（いしずえ）を作った国学者。西林國橋（にしばやしこっきょう）。
11	福西 志計子	高梁市				明治時代、岡山県初の女学校を立ち上げ、女子教育に大きく貢献したよ。福西志計子（ふくにししげこ）。
12	米川 文子	高梁市				箏や三弦の学校を作り、音曲芸能を広める活動をして、箏の人間国宝になったよ。米川文子（よねかわふみこ）。
13	雪舟	総社市				子どもころ、修行に行った宝福寺（ほうふくじ）で涙で鼠を描いたよ。やがて、水墨画を学び、画聖（がせい）と呼ばれるまでになりました。雪舟（せっしゅう）。
14	古川 古松軒	総社市				江戸時代後期の地理学者。日本の各地を回り、多くの地図や地誌を書き残したよ。古川古松軒（ふるかわこしょうけん）。
15	堀 和平	総社市				外国人から油絵の技法を学び、岡山県でだれよりも早く油絵を描き始めた先駆者。堀和平（ほりわへい）。
16	満谷 国四郎	総社市				油絵「林大尉（はやしたいい）の死」を明治天皇がたまたまご覧になり大変褒められて宮内省（くないしょう）に買われたよ。満谷国四郎（みつたにくにしろう）。
17	戸川 安宅	早島町				日本女子大学（にほんじょしだいがく）の創立に加わり、のちに教授になって教育界に貢献したよ。もとは早島戸川家の領主、戸川安宅（とがわやすいえ）。
18	安原 備中守	早島町				石見銀山（いわみぎんざん）で新たな鉱脈を発見、石見銀山繁栄の時代を築き、厚い信仰心をもっていた安原備中守（やすはらびっちゅうのかみ）。
19	池田 遥邨	倉敷市				15才から大阪で洋画を学び、その後日本画に転身したよ。晩年になっても絵を描き続けた画家、池田遥邨（いけだようそん）。
20	大原 總一郎	倉敷市				日本繊維工業史に輝かしい業績を残し、郷土の発展にも貢献、高梁川流域連盟の提唱者でもあるよ。大原總一郎（おおはらそういちろう）。

21	大原 孫三郎	倉敷市				倉敷中央病院や大原美術館を作るなど、いろいろな社会事業に取り組んだ実業家、大原孫三郎（おおはらまごさぶろう）。
22	野崎 武左衛門	倉敷市				17万人の人手と420日の日数をかけて児島に塩田を完成させ、他にも塩田や新田を開発した塩田王、野崎武左衛門（のざきぶざえもん）。
23	良寛	倉敷市				わかりやすい説法を説く一方で、子どもを愛しいっしょに遊んでくれるお坊さん。日本を代表する詩人でもあるよ。良寛（りょうかん）。
24	三島 中洲	倉敷市				備中松山藩に仕え、江戸幕府の老中となった藩主を支え、激動の幕末を乗り越えたよ。三島中洲（みしまちゅうしゅう）。
25	坂田 一男	倉敷市				フランスでキュビズムに触れ、本格的に学んだ、日本の抽象絵画の先駆者、坂田一男（さかたかずお）。
26	大野 昭和斎	倉敷市				昭和59年に人間国宝の認定を受けた、木工芸の第一人者、大野昭和斎（おおのしょうわさい）。
27	薄田 泣菫	倉敷市				詩集を刊行し、明治の詩人の頂点を極めたのち、随筆でも読者を魅了、文学界の発展にも貢献した薄田泣菫（すすきだきゅうきん）。
28	川田 甕江	倉敷市				備中松山藩に仕え、戊辰戦争のときには力を尽くして藩士の命を助けたよ。明治時代には政府で活躍。川田甕江（かわたおこう）。
29	吉備真備	倉敷市、矢掛町				遣唐使として唐にわたり、唐の文化を日本に持ち帰り、その知識を政治にも活かしたよ。吉備真備（きびのまきび）。
30	磯崎 眠亀	倉敷市				い草を使った精巧な花むしろ「錦莞莛（きんかんえん）」の発明に成功。海外に輸出し、岡山県の代表的な特産品になったよ。磯崎眠亀（いそざきみんき）。
31	横溝 正史	倉敷市				名探偵・金田一耕助（きんだいちこうすけ）の初登場作品であり、戦後初の本格推理小説「本陣殺人事件（ほんじんさつじんじけん）」。日本を代表するミステリ作家、横溝正史（よこみぞせいし）。
32	本田 實	倉敷市				倉敷天文台で戦後初の新彗星を発見。生涯のうちに彗星12個、新星11個発見した倉敷市名誉市民、本田實（ほんだみのる）。

33	大山 康晴	倉敷市				将棋の永世称号を5つももち、「受けの達人」として一時代をきずいた15世永世名人（じゅうごせいえいせいめいじん）、大山康晴（おおやまやすはる）。
34	赤松 月船	矢掛町				詩の才能があり、詩集も発表。「梅花流詠讃歌（ばいかりゅうえいさんか）」で独自の世界を表現したのち、洞松寺（とうしょうじ）の住職になったよ。赤松月船（あかまつげっせん）。
35	石井 直三郎	矢掛町				歌人として歌誌に参加し、多くの歌人も育てたよ。47才の若さで亡くなった、石井直三郎（いしいなおさぶろう）。
36	内山 完造	井原市				戦時中、上海で内山書店を開業。日中文化交流の窓口としたよ。戦後は日本で日中友好に力を尽くした内山完造（うちやまかんぞう）。
37	馬越 恭平	井原市				井笠鉄道の初代社長だよ。ビール業界の発展にも力を入れた「東洋のビール王」。馬越恭平（うまこしきょうへい）。
38	阪谷 朗盧	井原市				井原市でたくさんの学問を教えて、興譲館（こうじょうかん）を開いたよ。阪谷朗盧（さかたにろうろ）。
39	平櫛 田中	井原市				「でんちゅうさん」として慕われているよ。日本彫刻に大きな影響を与えました平櫛田中（ひらくしでんちゅう）。
40	阿藤 伯海	浅口市				代表作は漢詩『吉備公館址作（きびこうかんしさく）』だよ。浅口市鴨方町生まれの偉大な昭和の漢詩人。阿藤伯海（あとうはくみ）
41	西山 拙斎	浅口市				朱子学を正学（せいがく）にし、それが寛政異学の禁（かんせいいがくのきん）の土台になったよ。西山拙斎（にしやませっさい）。
42	小川 郷太郎	里庄町				大学の先生や政治家として活躍したよ。本州と九州を結ぶ関門トンネルが開通したときの鉄道大臣。小川郷太郎（おがわごうたろう）。
43	仁科 芳雄	里庄町				人工的に放射線をつくる装置、サイクロトロンを建設した日本の原子物理学の父。仁科芳雄（にしなよしお）。
44	井戸 平左衛門	笠岡市				江戸時代に起こった大飢饉で活躍したよ。笠岡の人たちを救った「いも代官」。井戸平左衛門（いどへいざえもん）。
45	小野 竹喬	笠岡市				西洋美術を研究して、日本の自然の美しさを描き続けた日本画家。小野竹喬（おのちつきょう）。

46	木山 捷平	笠岡市				ふるさと笠岡の風土を素材にして、詩や小説を書いた小説家。木山捷平（きやましょうへい）。
47	小寺 清先	笠岡市				笠岡地方でみんなに学問を教えたよ。たくさんの人に尊敬された小寺清先（こでらきよさき）。
48	津田 白印	笠岡市				岡山龍谷高校（おかやまりゅうこくこうこう）の最初の校長先生だよ。画家としても優秀な教育者、津田白印（つだはくいん）。
49	森田 思軒	笠岡市				ヴィクトル・ユゴーやジュール・ベルヌの本を翻訳した翻訳王。西洋文学の魅力を広く紹介した森田思軒（もりたしけん）。
50	田中 塊堂	矢掛町				書や漢文を学び、古筆（こひつ）や古写経（こしゃきょう）の研究もして活躍したよ。博士になり、矢掛町の名誉町民になった田中塊堂（たなかかいどう）。